

県オリジナル ラナンキュラス「てまり」シリーズの栽培に取り組みませんか

幾重にも重なる花びらが美しいラナンキュラスは、切花として人気が高く、花屋の定番の花となっています。
 本県は出荷量全国2位で、県農業試験場が育成した「てまり」シリーズが県内各地で栽培されています。
 栽培に興味のある方は、西讃農業改良普及センター(0875-62-3075)にお問合わせください。

「てまり」シリーズは、県が育成した登録品種の「雪てまり」、「ゆずてまり」、「恋てまり」等10品種が現在流通しています。このシリーズは、**カラーバリエーションが豊富**で、**切花の収穫本数が多く**、**切花の日持ちが長い**ことが特徴です。
 莖頂培養から増殖した塊根が供給されており、ウイルス病の発生が少なく、生育旺盛です。

【主な栽培品種】



雪てまり



紅てまり



小春てまり



ゆずてまり



れもんてまり



恋てまり

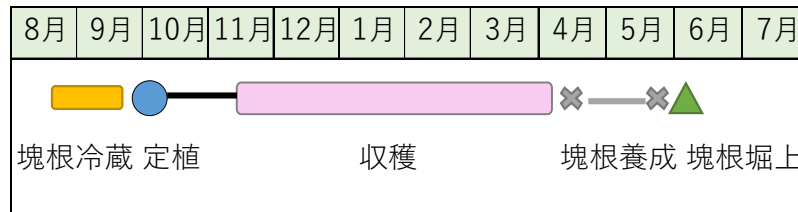


茜てまり



桜てまり

【栽培ごよみ】



※定植目安：3,300球/5a

【経営指標(5a)】

収穫目標	4 8 0 0 0 本
平均単価	5 1 円/本
労働時間	6 6 9 時間
粗収入	2,4 4 8,0 0 0 円
経営費	1,5 0 9,0 0 0 円
所得	9 3 9,0 0 0 円

※香川県経営指標より抜粋

詳しくはこちら



【栽培のポイント】

①塊根は冷蔵して年内から出荷開始



育苗箱に塊根を並べる



★塊根は4週間以上の低温を当てることで、年内からの収穫が可能となります。

②温度管理は低めの温度で



生育期間(11月)

★生育適温は15~20℃とされているので、秋季は20℃を上回らないように、冬季は5℃を下回らないように管理します。

③切花はコンパクトで軽量



丈を揃えて10本束に調整



★出荷規格は30~50cmで、花卉が傷まないようにスリーブに入れます。

④塊根を養成して次年度も活用



指で花蕾だけをつまんで取り除く



塊根養成期間

★花蕾を除けて塊根に栄養が溜まるよう肥培管理し、堀上げます。

